

## 特徴ある新しい品種の開発（ヤマブドウ、セイヨウナシ）

信州大学学術研究院農学系・春日重光教授（専門：栽培学）は、栽培特性や果実特性の現場ニーズに合わせ、特徴ある新しい品種の改良を進めています。このたび、品種登録申請したヤマブドウ1品種とセイヨウナシ4品種について、それぞれ苗木販売業者との契約が完了し、栽培希望者に向けての苗木販売体制が整いました。

### 【ヤマブドウ】

果実の機能性に優れ、かつ、実用レベルの収量性を持つワイン用ヤマブドウ品種の育成を目標に、1997年に‘五アムレンシスⅡ系’（チョウセンヤマブドウ系の未登録系統）の自然交雑種子から選抜・育成が開始され、完成した新品种「貴房（きぼう）」。

果実の機能性は、果実の重量ベースで、以下が‘五アムレンシスⅡ系’に比べて高い結果が得られました。

- ・果皮の総ポリフェノールと総アントシアニンの含量
- ・果皮抽出物の抗酸化能



2016年3月28日に品種登録申請し、2019年2月14日に品種登録された（登録番号第27302号）。

果実は様々な加工にも向き、信州大学農学部では、附属農場で収穫された貴房を加工しており、生産品直売所にてワイン・ジュース・ジャムなどが販売されています。

ブドウの接木苗の生産は非常に難しく、苗木の生産販売業者が限られる中で、当社は(株)植原葡萄研究所（山梨県甲府市）と交渉。2023年、信州大学が同社に対して本品種の利用を許諾する契約を締結しました。同社を通じ、全国の栽培希望者に向けて苗木が販売されています。

[http://www.uehara-grapes.jp/variety/grape\\_010.html](http://www.uehara-grapes.jp/variety/grape_010.html)



### 【セイヨウナシ】

果実特性に優れ、かつ、収穫時期が重ならない複数品種の育成を目標に、1995年から育成・選抜が開始され、新しく次の4品種が完成しました。

品種名	信大はるちゃん	信大のどか	信大ほのか	信大かずき
出願番号	第 35252 号	第 35251 号	第 35250 号	第 36202 号
出願日	2021 年 2 月 22 日	2021 年 2 月 22 日	2021 年 2 月 22 日	2022 年 3 月 31 日
来歴（交配種）	ラフランス／スタークリームソン	ラフランス／スタークリームソン	ラフランス／レッドバートレット	ラフランス／レッドバートレット
収穫期	8 月中旬の <u>極早生</u> 種。	8 月中旬～下旬の早生種。	9 月中旬以降の中生～晩生種。	9 月下旬～10 月上旬の中生～晩生種。
果実	・早生種バートレットと比べ酸含量は同程度だが、糖度が高い。 ・ <u>常温での追熟も</u>	・早生種バートレットと比べ、甘酸共に高く <u>濃厚</u> 。 ・貯蔵性に優れる。	・ラフランスと比べ酸含量が高いが、 <u>甘酸のバランス</u> が良い。 ・貯蔵性に優れ	・ラフランスと比べ酸含量は同程度だが、糖度が高い。 ・ <u>常温での追熟も</u>

	可能。		る。	可能。
写真				

当社は、セイヨウナシの生産が国内一位の山形県に注目し、(株)イシドウ（山形県天童市）と交渉。2023年、信州大学が同社に対して本4品種の利用を許諾する契約を締結しました。同社を通じて、全国の栽培希望者に向けて苗木が販売されています。

<http://www.ishidou.jp/younashi.html>

詳細情報のアクセス先：

株式会社信州 TLO 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内 R 棟

TEL：0268-25-5181 FAX：0268-25-5188 E-mail：info@shinshu-tlo.co.jp